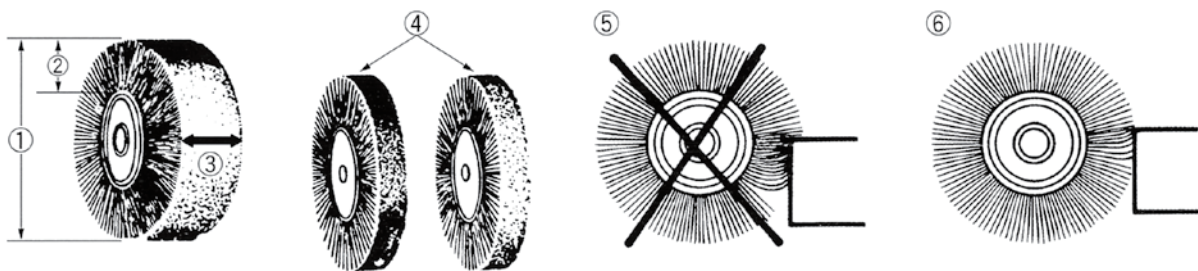


オズボーン・ブラシを より効果的にお使いいただくために



① 外径

外径が大きいほど効率のよいブラシとなります。携帯工具用には、φ180mm 以下をお使い下さい。

② トリム長さ

トリムの長さが短いほど強く、よく研削するブラシとなります。

トリムの長さが長いほど柔軟性があり、複雑な表面によく適合します。

③ 先端幅

カタログ記載の数値は、回転時の数値です。作業に合わせてブラシを重ねて取付けて下さい。

先端幅が大きいほど大きい馬力が必要です。

④ ブラシの密度

高密度のブラシは、バリ取り作業の場合等に良好な仕上面が得られます。密度が低くなれば柔軟性が増し、サビやスケール等をインパクト効果により素早く落します。

⑤ + ⑥ 表面速度と接触圧力

オズボーン社のブラシには、MSFS (Maximum Safe Free Speeds) が表示されています。

一般には、これより低い速度がより効果的です。ワイヤーの先端が実際の仕事を行いますので、適切な圧力を選んで下さい。

回転数と圧力が低ければブラシの寿命も延び、熱の影響もなくなります。回転数、圧力を低くするように線径、トリムの長さ、密度等を作業に合わせてご選択下さい。

ブラシの取扱いについて

次の事項は、作業安全のためにおたしかめ下さい。

1. ブラシはオズボーンの Karton に入れて保存して下さい。使用前にはサビ・ダメージがないかチェックして下さい。ホイールのバランスがくずれていると寿命が短くなります。
2. 用途に合わせたパワーのあるスピンドルに取付けて下さい。ブラシに対し、フードやカバーが必要です。吸塵装置も良い環境を作ります。
3. ブラシの回転数は、MSFS (Maximum Safe Free Speeds) 以下であることが必要です。最適な回転数は、それ以下で得られます。もし効率が上がらない場合は、ブラシの選定を変えて下さい。
4. ブラシはアダプターにより、スピンドルに自由にセットできます。

5. 防護メガネは、作業およびその周辺の人にはぜひ必要です。また手袋及び防塵マスクをつけることもお奨めします。



6. 機械の始動時には、少なくとも1分間は、ならし運転を行なって下さい。その時、ブラシの前に立たないで下さい。
7. ブラシには、過度の圧力をかけないで下さい。軽い圧力で良好な仕上がりが与えられます。

資料

■ 駆動モーターの所要馬力

